

5 研究機関助成

石川県教員総合研修センター

(所長 杉 中 達 夫)

科学教育の充実に向け、科学教育担当教員の指導力・実験力向上のための研修を実施し、科学教育の振興・発展に努めている。

6 研究奨励 (※は研究代表者)

子どもが創る理科

～関わり合い、追究する子を目指して～

津幡町立津幡小学校 教諭 別宗 美幸*
内灘町立白帆台小学校 教諭 服部 綾子

科学研究アーカイブスの効果的な活用に関する研究 ～錦丘学びのアーカイブスの効果的な活用～

石川県立金沢錦丘中学校 教諭 田中 祐介*
石川県立金沢錦丘中学校 教諭 堀 祐己
石川県立金沢錦丘中学校 校長 嶋 耕二

物理教育におけるプログラミングの取り組み ラズベリーパイを用いたロボットの作成

石川県立小松高等学校 教諭 藤田 嵩治

1人1台端末を活用した「主体的に学習に取り組む態度」の評価に関する研究

石川県立寺井高等学校 教諭 米川 拓臣*
石川県立寺井高等学校 教諭 上田 隼也

立体物の理解を助けるAR教材の開発

石川県立金沢二水高等学校 教諭 高縁 貴章

オンデマンド動画による研究発表を行っています。研究発表動画は、石川県教員総合研修センターWebページ(科学教育関係)から視聴することができます。



令和5年度

第61回 越馬徳治科学賞 表彰状授与及び助成金交付式

日時 令和6年2月14日(水)
13:30～14:30

式場 石川県教員総合研修センター大研修室

式次第

- 開式のことば
- 表彰状及び記念品等授与
個人表彰
功労者表彰
学校表彰
- 助成金交付
学校助成
研究機関助成
研究奨励
- あいさつ
石川県科学教育振興会会長 高納 伸 宏
- 来賓祝辞
石川県教育委員会教育長 北野 喜 樹
- 受賞者代表謝辞
- 閉式のことば

越馬徳治科学賞について

1 趣旨

越馬徳治科学賞は、昭和38年、石川県科学教育振興会の発足と同時に、優れた理科教員を顕彰し、併せて本県科学教育の振興を期して、故越馬徳治会長の寄付を基金として設立された賞である。

発足当初、小・中・高等学校において指導実績に優れ、研究業績も顕著にして少壮有為な理科担当教員を対象として表彰していたが、昭和59年度より児童・生徒の科学活動にすぐれた成果をあげた学校の表彰並びに科学教育の振興を図り実践している学校・研究所等への助成金交付が加えられた。さらに、平成元年度より理科教育の推進に功労のあった教員の表彰が加えられ現在に至っている。

2 表彰・助成・奨励

- 理科教育の振興に努力し、その進展に顕著な業績をあげた教員の表彰
- 理科教育の推進に功績のあった教員の表彰
- 児童・生徒の科学研究活動にすぐれた成果をあげた学校の表彰
- 小・中・高をつなぐ理科教育を積極的に推進している学校への助成
- 科学教育に関する研究所等への助成
- 科学教育担当教員の研究並びに教育機関に属する個人及びグループの研究への奨励

3 過去の教員表彰者数

上記(1)・(2)について令和5年度を含めた総数は、444名に上る。
その内訳は、小学校175名、中学校140名、高等学校129名である。

主催 石川県科学教育振興会

共催 石川県教育委員会

